

新幹線小松駅基本コンセプト

ふるさとの伝統を未来へつなぐ『ターミナル』

●新幹線小松駅のデザイン性

テーマ1：温故知新	伝統＜未来
①伝統（駅西ゾーン）と未来（駅東ゾーン）を融合したデザイン ②歴史・伝統要素（曳山、子供歌舞伎、勸進帳など）を取り入れたデザイン ③光、音など五感で体感及び共感できるフューチャーデザイン ④ふるさと（木場潟、里山など）が回想できるデザイン	
テーマ2：ふるさと資源の戦略的な演出と共創	地域資源
①市民力で培われた小松ブランド（ものづくり、地域産材、埋蔵文化財など）を活用したデザイン ②和文化をモダンに活用したアート性のあるデザイン	
テーマ3：駅のイン（内側）とアウト（外側）から楽しさを発信	おもしろさ
①視覚コミュニケーション（白山眺望など）を促すスクリーン性デザイン ②駅特有のアクティビティ（新幹線車両・人の動きなど）を演出するデザイン ③在来線駅と一体化し、歴史伝統から未来を表現するデザイン	

●使いやすさと評価される機能性

テーマ4：南加賀ターミナルとしての広域拠点の役割	拠点
①北陸の際立ったまちを目指したひとの賑わいのある駅 ②空港と連結した南加賀のハブ駅 ③ビジネス・観光・教育等のグローバル交流を展開する国際的な駅	
テーマ5：訪れやすいやさしい駅・まち	やさしさ
①東西をつなぐ駅舎機能（東西の一体化、ゆったりとしたコンコース） ②外国人・ビジネスマン・障がい者などが使いやすい施設（トイレなど）を持つ機能 ③誰にもやさしい施設（駅に近い高架下駐車場、観光案内所など）が配置された機能	
テーマ6：周辺環境に配慮したエコロジー	環境配慮
①地球環境にやさしい、エコロジー性（建物緑化、壁面緑化など）の高い駅 ②スマートシティ（自然光、LED、太陽光発電、節水トイレなど）を演出する機能	